



大沢田

— おおぞうた —

take
free



医療の話題
No.142

「HPVワクチン」
「出生前検査と遺伝カウンセリング」
..... P02

医療の話題
No.143

「肺MAC症」について P04

医療の話題
No.144

手術のあとの吐き気が
心配な方へ P06

INFORMATION P07

- 「母乳にやさしいお祝い膳」の提供を開始しました
- 「2023世界禁煙デー市民公開講座 in 東広島」で講演させていただきました
- 肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設認定を受けて

研修医紹介 P10

職場紹介 P14

宮榮絵美様より絵画2点の寄贈 P18

人事異動 P18

レシピ P19



独立行政法人 国立病院機構

東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地

tel.082-423-2176 fax.082-422-4675

[発行責任者] 事務部長 長沼 幸治

[制作] 株式会社 D52

東広島医療センター 検索

<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>



「大沢田」の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大蔵田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっているようです。

医療の 話題 No.142

「HPVワクチン」 「出生前検査と遺伝カウンセリング」

産婦人科部長 田中 教文

HPVワクチン

子宮頸がんは女性に発症するがんのひとつであり、ヒトパピローマウィルス (HPV) の感染により起こるがんです。

日本は先進国としては珍しく子宮頸がんが増えている国です。

検診とワクチン接種の普及により、子宮頸がんの発症や子宮頸がんによる死亡を減らすことができると考えられています。

HPVワクチンの積極的勧奨が再開され、小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女性(12歳になる日が属する年度から16歳となる日が属する年度)は、ワクチン接種を公費負担で受けることができます。

また、2024年度までは公費負担でのワクチン接種を実施できなかった世代の女性の方も公費負担でHPVワクチンの接種ができます(キャッチアップ接種)。1997年4月2日から2006年4月1日生まれの女性はキャッチアップ接種の対象となりますので、該当する方はぜひワクチン接種をご検討ください。

出生前検査と遺伝カウンセリング

2021年秋より当院でも出生前検査と遺伝カウンセリングを開始しています。

昨年も紹介させていただきましたが、それ以降に当院で実施できる検査も増えましたので、再度紹介させていただきます。

昔は赤ちゃんの情報は産まれて初めて分かることが

多かったですが、近年の医学の進歩のより、妊娠中に赤ちゃんの情報が得られる方法が開発されてきました。

出生前検査もそのひとつであり、当院でも希望される方には出生前検査と遺伝カウンセリングを提供しています。

では、出生前検査や遺伝カウンセリングとはどのようなものなのでしょうか？以下に当院での実際も踏まえて概要を説明いたします。

Q. 出生前検査や遺伝カウンセリングは、 妊娠したら必ず受けないといけないのですか？

A. いいえ。

出生前検査、遺伝カウンセリングはすべての妊婦さんが受ける通常の妊婦健診では実施しない検査です。

受けるか受けないかは各々の妊婦さんの自由です。当院では、出生前検査を希望された方には、出生前検査を受ける前に遺伝カウンセリングを実施しています。この遺伝カウンセリングは可能な限りパートナーとともに受けていただきます。遺伝カウンセリングを受けると、出生前検査についての知識・情報が増えます。その状況下で、出生前検査を受けるか否かを考えていただきます。おなかの中の赤ちゃんについて心配なことがあるようでしたら、まずは遺伝カウンセリングを受けてみるのもよいかもしれません。出生前検査、遺伝カウンセリングを受けるか否かはパートナーなどとも相談し、よく考えて決断してください。

Q. 出生前検査でなにが分かるのですか？

A. 産まれてくる赤ちゃんの3～5% (20～30人にひとり)はなんらかの先天性疾患をもって産まれてきます。そのうち、25%は染色体疾患であると言われています。出生前検査で診断できるのはこの染色体疾患(のリスク)です。別の言い方をすると、出生前検査を受けても、赤ちゃんの先天性疾患の75%は分かりません。

赤ちゃんの染色体について知りたいかどうかは、お母さんやお父さんの考え方によります。また、知った時にどうしたいかを妊婦さんの考え方に基づいて決めていきます。誤った情報により本来であれば選びたくなかった選択肢を選んでしまうことを防ぐために、我々は遺伝子カウンセリングを通じてサポートします。

Q. 出生前検査にはどのようなものがありますか？

A. 染色体疾患を正確に診断するものとして、羊水検査があります。しかし、羊水検査では約0.3% (300人にひとり)の頻度で流産を起こしてしまうリスクを伴うため、羊水検査を行うかどうか判断するために受ける検査があります。この検査には、胎児超音波検査、母体血清マーカー検査(クアトロテスト)、母体血中 cell free DNA 検査(NIPT)などがあり、この3つの検査と羊水検査は当院でも実施することができます。それぞれの検査にはそれぞれ特徴がありますが、検査を受けるかどうか、受けるならどの検査を受けるかについては、遺伝子カウンセリングの中で共に考えていくことになります。

Q. 疾患がみつかったらどうするの？

A. 胎児に染色体疾患がみつかった場合は、その疾患の説明、合併することが予測される疾患の説明、妊娠中、出産後のケアや支援内容などについて、さらに詳しく専門家から説明を受けることができます。

Q. ほかのひとはどうしているの？

A. 35歳以上の妊婦さんの場合、約10%の妊婦さんが出生前診断を受けているという報告もあります。

当地区の分娩数は年間約1,500件、そのうち当院では年間450～500件の分娩があり、開始して間もない昨年は出生前遺伝カウンセリングの実施数は約20件程度でしたが、今年の来談者数はさらに増加しています。

Q. いつから出生前検査、遺伝カウンセリングを受けることができますか？

A. 受ける時期として多いのは妊娠初期です。可能であれば、妊娠11週ごろまでに主治医に相談してください。受ける時期の調整を行います。

しかし、上記の時期でなくても、気になった時にはいつでも相談(遺伝カウンセリング)できます。

妊娠を考えると、妊娠前に相談に来談される場合もあります。

Q. 保険が適用されますか？

A. 保険は適用されません。

遺伝カウンセリングには相談料(初回10,000円、2回目以降6,000円)と検査を行う場合には別に検査料がかかります(2023/7月現在)。



医療の 話題 No.143

「肺 MAC 症」について

呼吸器内科部長 宮崎 こずえ

肺非結核性抗酸菌症のうち最も頻度が高い肺 MAC 症についてご紹介します。

肺 MAC 症とはどんな病気？

肺 MAC 症とは、MAC (Mycobacterium avium complex : マック) という細菌が肺に感染して起こる病気です。MAC 菌は、非結核性抗酸菌というグループに属する約 200 種類の細菌の 1 つで、非結核性抗酸菌は結核菌の「いとこ」のような存在です。結核菌とは異なり、基本的には人から人に感染しません。日本では、非結核性抗酸菌症による肺感染症の 9 割を肺 MAC 症が占めます。

肺 MAC 症を含む肺非結核性抗酸菌症は、世界的に増加傾向です。特に日本では、2014 年の全国的な疫学調査において、1 年間に診断された患者数は人口 10 万人あたり 14.7 人で、7 年前の調査から 2.6 倍に増加していました (図 1)。

肺 MAC 症の症状は？

主な症状は、長引く咳、痰、血痰、だるさ、発熱、体重減少などですが、自覚症状がなく検診で偶然みつかるとも珍しくありません。多くは数年かけてゆっくり進行します。

肺 MAC 症にかかりやすい人は？ 感染源は？

以前は肺に病気を抱えている人に多くみられていました。最近は特に病気のない中高年のやせ型の女性に増えています。原因は不明です。

MAC 菌などの非結核性抗酸菌は、水場や土壌などの自然環境に加えて、水道や貯水槽など給水にかかわる生活環境に広く生息しています。浴槽の温水の注ぎ口やシャワーヘッドなども感染源として疑われています。このため、土を扱う作業 (農作業や園芸など) により MAC 菌を含んだ土ぼこりを吸い込んだり、MAC 菌を含んだしぶきや霧状の水滴を吸い込んだりすることで、感染すると推定されています。ただし、多くの人が日常的に菌を吸い込んでおり、通常は病気になることはありませんが、一部の人で肺に定着して肺 MAC 症を発症します。なぜ発症するのか、その原因は不明です。

診断は？

胸部エックス線検査、CT 検査で、肺 MAC 症が疑われた場合に、喀痰検査を行います。培養には 6 週間程度かかることがあります。MAC 菌は環境に存在する菌であるため、喀痰検体から 2 回以上同じ菌がでると診断が確定します。喀痰で診断がつかない場合は、気管支鏡検査を行い診断することもあります。また、血液中の抗体検査は感染の有無を間接的に調べる方法として参考にします。

肺 MAC 症の治療

現時点で、肺 MAC 症を根治できる決定的な治療法はまだありませんが、治療により症状の改善と、病気の進行を防いで将来重症化させないことを目指します。すべての人が、すぐに治療にすすむわけではなく、年齢、症状、画像所見、患者さんの希望も考慮して、治療方

針が決まります。経過の長い病気で、自然軽快することもあるため、軽症の時には経過観察のみ行うこともあります。

治療法の基本は、抗生物質による薬物治療です。通常はマクロライド系（クラリスロマイシンあるいはアジスロマイシン）に、結核の治療薬であるエタンブトール、リファンピシンの計3剤を併用します。重症例に対しては、注射も併用します。また、難治例には、アミカシンの吸入薬も使用可能となりました。飲み忘れなどで服用が不規則になると菌が耐性化して治療が非常に困難となるため、欠かさず飲み続けることが重要です。主な副作用には発疹、食欲低下、味覚障害、肝障害、視力障害などがあります。エタンブトールでまれに視神経障害がおきて視力が低下するおそれがあるため、治療中は定期的に眼科の診察を受けることが必要です。

治療期間は、一般的には痰から菌がいなくなってから最低1年以上あるいは治療開始から1年半～2年が目安とされます。菌が消えない場合や、画像検査が悪化傾向にある場合には治療期間を年単位で延長することもあります。外科的に病変を手術することもあります。治療が終了したあとも、再発再燃を念頭に、定期的な検査を行います。きちんと食事や睡眠をとり、無理をしないことも重要です。

感染を防ぐための日常生活での注意点

菌を含んだ水しぶきや土ぼこりからの感染が考えられるため、できるだけ菌を大量に吸い込む機会を減らしましょう。浴室を清潔に保ち十分に乾燥させましょう。土ぼこりが舞うおそれがある作業ではマスクを着用し、特に再発を繰り返す方はこれらの作業を避けた方がよいでしょう。



おわりに

咳や痰、微熱などの自覚症状が長引いたら、呼吸器内科など医療機関を受診しましょう。ご不明な点は、主治医にご相談ください。

[参考文献]

- ・「肺非結核性抗酸菌症化学療法に関する見解 -2023年改訂-」Kekkaku Vol. 98, No. 5, 2023
- ・日本結核病学会 編：非結核性抗酸菌症診療マニュアル。医学書院，東京，2015。

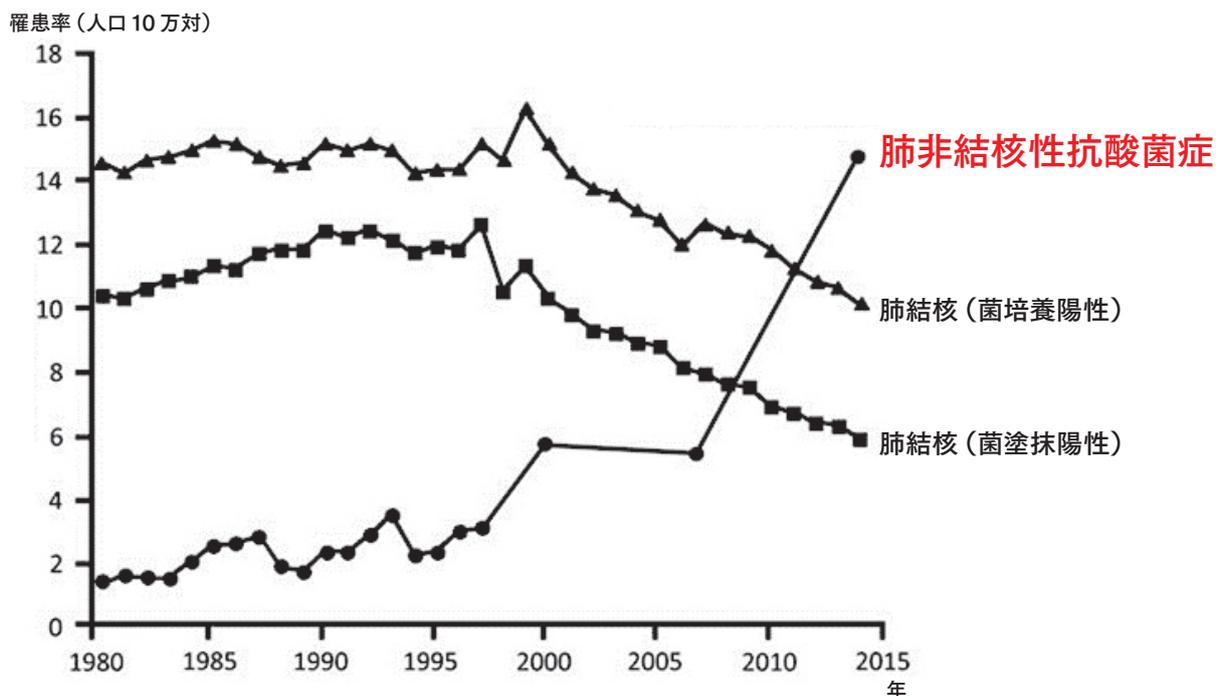


図1. 肺非結核性抗酸菌症罹患率推移(1980～2014)

Namkoong H, et al. Emerg Infect Dis.2016;22:1116-1117より作成

医療の 話題 No.144

手術のあとの吐き気が 心配な方へ



麻酔科医師 近藤 洋司

みなさんは「Big little problem」という言葉を耳にしたことがありますか？

多くの方は耳にしたことがなく、そして少し変な英語だなと感じると思います。

「Big little problem」という言葉は、麻酔科が関わる領域、特に手術のあとに起きる問題について、欧米などで使われている言葉です。その問題とは「痛み」ではありません。実は「吐き気」のことを表しています。「痛み」に比べて軽視されてしまいがちな「吐き気」は、大きな問題であるということを説明しています。

麻酔科医は「痛み」について最小限になるように麻酔方法を選択し、準備をしています。そして「吐き気」に関しても同様に注意を払っています。

頑張って手術を受けたあとに、痛みは我慢できるけど、吐き気に悩みました・・・という患者さんを一人でも減らすために、麻酔科としてできる努力を続けていきます。

この「Big little problem」を解決するために、新しいお薬が使用できるようになったので紹介したいと思います。

「オンダンセットロン」という名前の薬剤が、保険の範囲内で手術後に使用できるようになりました。詳しい薬の効き方については、内容が難しくなるので割愛しますが、新しい吐き気どめの薬が使えるようになったことを覚えておいてください。

それでは、どのような人が「吐き気」に悩みやすいのでしょうか。これまでの研究結果から、手術のあとに「吐き気がやすい人」が分かっています。「女性」「50歳以下」「乗り物酔いしやすい、過去の手術で吐き気があった」「非喫煙者」が吐き気に悩みやすいと判明しています。

この中で、患者さんから申し出て頂かないと分からないのが「乗り物酔いしやすい、過去の手術で吐き気があった」という情報です。できるだけ麻酔科からも確認していますが、他の医療情報を優先して「吐き気」に関して確認する時間がとれない日もあります。そんな時は遠慮なく、「吐き気に弱い」と申し出るようにしてください。可能な範囲で、吐き気にも配慮した麻酔方法に工夫をさせていただきます。「痛み」も「吐き気」のどちらにも配慮して、日々の麻酔に取り組んでいますので、安心して麻酔科に相談をよろしくお願いいたします。

手術が計画された時、色々な不安があり、心配な日々が続くと思います。

麻酔科医が患者さんとお話できるタイミングは、手術日の直前が多くなります。

麻酔科の説明時間を長くとれない日もあると思いますが、「痛み」に関する不安だけでなく、「吐き気」に関する悩みも安心して相談してください。

我々麻酔科医は、安全な麻酔だけでなく、満足度の高い麻酔ができるように日々準備を続けています。今後とも、安全な麻酔に精進していきますので、よろしくお願いいたします。

「母乳にやさしいお祝い膳」の提供を開始しました

7病棟師長 實森 直美



この度、「母乳にやさしいお祝い膳」の提供を Bistro Group の川田シェフに協力を頂き開始しました。

今までは栄養管理室で調理したお祝い膳を提供していましたが、提供が困難になったため、外部委託することに決定しました。東広島市内でおいしくておしゃれなお店を探していたら、スタッフから BistroPapa が良いのではないかと声があがりました。そこで、ホームページを見ると、BistroGroup が「笑顔とまごころで感動をあたえる空間づくり」・「食にまつわる人々の幸せと豊かな生活の実現」・「人との出会いを大切にし、情熱をもって夢と志に挑戦します」という理念を掲げていることがわかりました。これを見て、私たちとの出会いを大切にしてお母さんに感動してもらえる脂肪分を抑えた食材や調理法で「お乳にやさしいお祝い膳」の提供に協力してくれるのではないかと思います。

提供に向けての話し合いを進めていくなか、お母さんのためにおいしい料理を作ろうとくださるだけでなく、お産が素敵なものだったという記念になるような料理を提供しようという気持ちが伝わってきました。すぐに準備に取り掛かり、6月9日から「母乳にやさしいお祝い膳」の提供を開始しました。

提供初日は、川田シェフ自ら、お母さんたちに料理をふるまわれていました。料理を見たお母さんからは、「すごく綺麗」「感動する」という歓声があがりました。

これからも、安心・安全なお産ができるようお手伝いするとともにお母さんが「母乳にやさしいお祝い膳」でお産の疲れを癒し、これからの育児の活力にさせていただけるように支援していきたいと考えています。



「2023世界禁煙デー市民公開講座 in 東広島」 で講演させていただきました。

副院長 柴田 諭



今年の4月に東広島地区医師会長の山田先生からお電話があり、世界禁煙デーでの市民公開講座で禁煙についての講演を依頼されました。

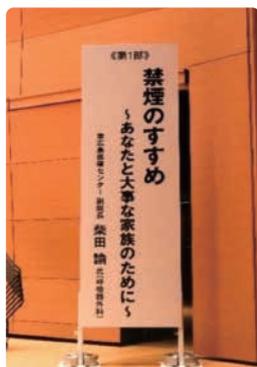
東広島地区医師会は以前から禁煙活動に力を入れており、毎年市民公開講座を開催しています。昨年とはまた私も会場で青山学院大学 原 晋 監督のお話と禁煙についての講演を聞いておりましたので、「前々回の元広島カープの黒田さんや前回の原監督の役目は私にはとても務まりません」とお答えしましたところ、「前回の原監督の講演にあたるのは、広島交響楽団のファミリーコンサートなので、その前に禁煙についての講演をお願いします。」とのことでした。すっかり気持ちが楽になりお受けすることにしました。

講演は「禁煙のすすめ ～あなたと大切な家族のために～」と題してタバコの健康への影響、受動喫煙、加熱式タバコ、禁煙についてそれぞれ最新のデータも示しながらお話しさせて頂き、さらにペットに対する受動喫煙についてもお話しさせていただきました。

受動喫煙については、病気の危険性のみでなく、特に小児に関して、たとえ換気扇の下やベランダで喫煙したとしても影響があることや乳幼児突然死症候群や学習能力に対する影響についても説明いたしました。

広島交響楽団のファミリーコンサートでは、前半は金管五重奏、後半は弦楽十一重奏でクラシックの有名な曲から、映画やアニメの曲まで大変親しみのある選曲で、幅広い年齢層も楽しむことができ、また生の演奏の迫力を感じることができました。私の講演の際には泣いていたお子さんたちもいましたが、コンサートではみんなが引き込まれ大変に楽しい時間を過ごすことができました。

ファミリーコンサートのおかげで、一般の禁煙講座とは違い、多くの年齢層の方々に禁煙についてお話をさせて頂くことができ自分としても大変にありがたいことでした。この講演をきっかけに、家族で禁煙を話題にいただき、禁煙を始める方が一人でも増えて頂くことを願って止みません。



肝胆膵外科学会高度技能専門医 修練施設認定を受けて

消化器外科医長 安部 智之



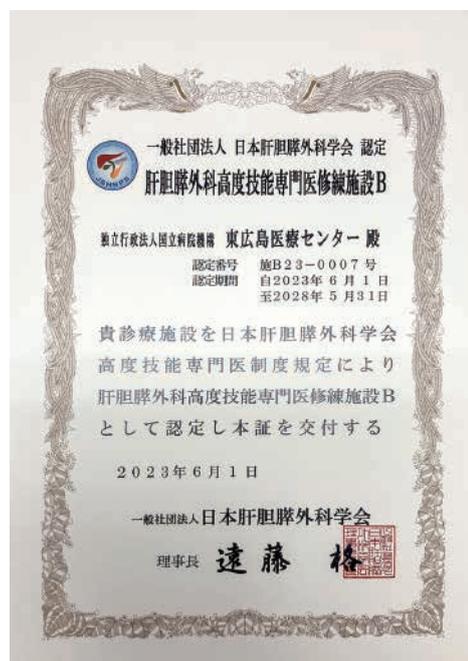
この度、国立病院機構東広島医療センターが肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 (B) に認定されました。日本肝胆膵外科学会が掲げる専門医制度の趣旨には「高難度の手術をより安全かつ確実に行うことができる外科医師を育てる」とあります。高難度の肝胆膵外科手術は、広範囲の肝切除 (特定の肝部分切除術や亜区域切除以上) または膵頭十二指腸切除とリンパ節郭清を伴う膵体尾部切除などの術式に限定されています。肝胆膵外科高度技能専門医を取得するためには、消化器外科専門医を取得した後に修練施設で最低3年間勤務し、50例以上の高難度手術を執刀する必要があります。それだけでなく、手術ビデオの1本を申請して実際の手術手技も一定の評価が得られないと専門医にはなれません。非常に長い時間と経験を要する専門医の一つに挙げられています。今後は、当院から肝胆膵外科高度技能専門医を輩出することを目標にしていきます。

東広島市は19万人の人口を有し2015年～2020年の期間に2.0%の人口増加率を示し、広島県内でも顕著な人口増加がみられる地域です。高齢化率 (65歳以上) も23%と比較的高く、80歳以上で肝胆膵外科手術を受ける患者さんも珍しくありません。東広島市の総人口は広島県内で呉市に次ぐ4位となっています。また、医療圏にすると、竹原市や三原市などを含めると非常に多くの患者さんが対象となることから、東広島医療センターの役割が重要であることが分かります。

消化器外科の中でも特に肝胆膵外科の手術は手術時間が長だけでなく、重篤な術後合併症も起こり得ます。他科の医師やスタッフとの診療連携はあらゆる面で必須であり、看護部や栄養科やリハビリ科など多職種で治療を行うことで良好な治療成績へとつながります。当院の肝胆膵診療体制は、外科領域が井上雅史医師、安部智之の2人体制となっています。胆膵内科診療を担う岡崎彰仁医師、河村良太医師と肝臓内科診療を担う安藤雄和医師に術前的確な診断をつけていただくだけでなく、定期的な肝胆膵内科・外科カンファレンスで患者さんそれぞれの状態に応じた治療

方針を一緒に決定しています。放射線科の富吉秀樹医師と張越医師によって、各種画像読影だけでなく術後合併症に対するIVR処置で術後合併症の加療をいただいています。病理診断科の服部拓也医師と万代光一医師によって、術後迅速かつ的確な診断をつけていただいています。また、麻酔科との連携なくして、安全な手術を行うことができません。診療部長の橋本賢医師を筆頭に麻酔科医師やメディカルスタッフの手厚いサポートで多くの手術を行えています。このように、多くのスタッフと共に一丸となって日々の診療を行っています。

今回、本認定を受けるにあたり長年に渡りこの東広島医療センターの消化器外科診療を支えてきた診療顧問の高橋忠照先生と統括診療部長の豊田和広先生に深く感謝を述べさせていただきます。先人達の実績と信頼がなければ、この認定につながることはありませんでした。最後になりますが、当院への手術支援やwebカンファレンスなどご尽力いただきました広島大学消化器・移植外科 大段秀樹教授、小林剛准教授に厚く御礼を申し上げます。引き続き、我々肝胆膵診療のご指導をよろしくお願い申し上げます。肝胆膵分野でお困りのことがありましたら、何時でもご紹介していただけたらと思います。



研修医
紹介

初期臨床研修医

—— 椎野 裕登

初期臨床研修医2年目の椎野裕登と申します。今年度も引き続き東広島医療センターで研修させていただきます。

昨年度は上級医や研修医2年目の先生方にご指導いただき、様々な学会や手技・手術等の研修・講習にも参加することができ、とても実りのある一年を送ることができました。

現在は救急外来をローテーションさせていただいていますが、幅広い様々な症例を目にする機会が多く、日々力不足を実感しながらも経験を積ませていただいています。プライベートも添付している写真のように研修医の同期と一学年上、の研修医の先輩との花火をしたりと、日々とても充実させることができています。

研修医終了後の3年目以降の専門診療科は、手技や手術に興味があるため外科系の診療科、その中でも特に泌尿器科と消化器外科に絞って考えておりしっかり悩みぬいて決めていこうと思います。どの診療科に進むにしても各科の知識は必ず必要になる



と思いますので、その二つの診療科や外科系の診療科に限らず内科系診療科でも引き続き意欲的に研修を送らせていただきたいと思います。

今年度も自分から主体的に学ぶ姿勢を忘れず、充実した一年間を送らせていただきたいと思いますので今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



研修医 紹介

初期臨床研修医

高橋 慎太郎

みなさま、こんにちは。初期臨床研修医2年目の高橋慎太郎です。

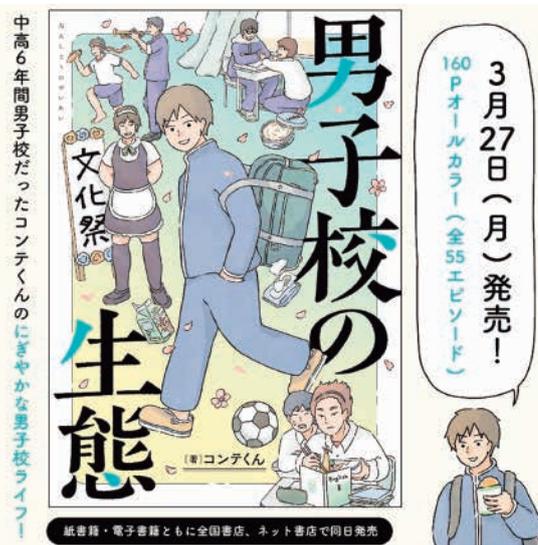
地元である東広島で医師として働き、早1年が経ちました。最初は、電子カルテの操作や患者さんとの接し方など何から何まで手探りの状態だったのですが、できることも次第に増えてきたように思います。点滴の際の血管確保や気管挿管、患者さんへの病状説明など医師としてどれも基本的な事ですが、できるようになると仕事が楽しくなります。当直で一緒になった先生に「高橋くん、成長したねぇ。」と褒めていただくこともあり、その時は溜まった疲れが一気に吹っ飛び、診療への活力になります。人気ドラマのコード・ブルーでも指導医である黒田先生が、「よくやった。」と初めて褒めるシーンがありますが、働いてようやくガッキー達の気持ちがありました。(コード・ブルー season1 第4話参照)

とは言っても、医師としてまだまだ未熟であり、日々の業務では指導医の先生方をはじめ、多くの他職種の方に支えられていることを痛感します。検査技師の方にエコー指導や培養標本の見方を教えていただいたり、薬剤師の方にお薬の相談をさせていただいたり、どのスタッフの方も優しく対応してくださり、改めて恵まれた職場だと実感する毎日です。時には、気絶するほど忙しい



当直業務に見舞われることもありますが、医師として地域貢献しているという自覚と責任を持ってこれからも業務に励んでいきたいと思っています。

さて話は変わりますが、最近、母校の先輩が漫画を出版したのでこの場を借りて静かに宣伝させていただきます。主人公のコンテくんは吹奏楽部の先輩がモチーフとなっており、僕と同じホルンという楽器を担当していました。男子校という特殊な環境での青春が描かれたエッセイ漫画となっており、とても面白いのでぜひ読んでみてください。



研修医 紹介

初期臨床研修医

白根 拓

こんにちは！東広島医療センター初期臨床研修医
2年目の白根拓と申します。

簡単に自己紹介をさせていただきます。広島県出身で
広島大学を卒業しております。男3人兄弟の3番目です。
高校時代からラグビーをしており、大学でも6年間
ほどやっておりました。基本的に体力はある方だと思いますので、
様々な場面でもがんばっていききたいと思います！

現在救急科をローテーションしております。日々、
様々な疾患を抱えた患者さんが救急外来を訪れどうしたら
良いのだろうと苦悩しながら何とかやっております。中には、
ぱっとみの印象は元気そうでも、実は危ない疾患が隠れていた
ということもありヒヤヒヤする場面もあります。迷惑をかける
場面も多いと思いますが、何とか周りの方々の助けがあって
救急科をローテーションさせていただいています。これからも
宜しくお願いします。

プライベートでは基本的に大学時代の親友とフットサル
をしたり温泉に行ったらサウナに入ったりすることが多いです。
大学時代には無かったストレスが社会人



になると増えたような気がしてサウナが全て吹っ飛ばしてくれてます！あとは、健全な麻雀をして日々戦っております！

以上長くはなりませんが最後まで読んでいただき有難うございました。



研修医 紹介

初期臨床研修医

—— 土田 麻未

初期臨床研修医2年目の土田麻未と申します。出身は東広島市で、高知大学を卒業し、昨年4月に地元に戻ってまいりました。寺家駅や道の駅、ゆめモールなど、ここ数年の間に新しいものが増えていて驚いています。特に私はコーヒーが好きなので、近くにスターバックスができたことがとても嬉しいです。

研修が始まってから1年と数ヶ月経ちましたが、上級医の先生方やコメディカルの方々にご指導いただき、少しずつ医療現場での対応力を身につけることができていると感じています。現在(6月)は賀茂精神医療センターで1ヶ月ほど研修を行っており、当院では対応する機会が少ない精神疾患について勉強しています。患者さんへの対応や薬の調整、社会復帰に向けた支援などを学ぶことができ、貴重な経験となっています。まだまだ勉強しなければならないことが山のようにあるので、東広島市の発展の速さに負けないように、残りの研修も頑張ろうと思います。今後もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

話は変わりますが、私は大学時代に食べた高知県のカツオのたたきの味が忘れられず、去年は2回ほど高知県にカツオを食べに行きました。高知県のカツオのたたきは苦味がなく、肉厚でとても美味しいので、今年も



また食べに行こうと考えています。高知県といえば現在放送中の朝ドラ「らんまん」に出てくる主人公の植物学者・牧野富太郎も高知県出身なのはご存知ですか?高知県には「牧野植物園」という牧野博士の業績を広く伝えるために開設された植物園があるのですが、四季折々の植物や牧野博士直筆の植物のスケッチ、植物探索中の牧野博士のおちゃめな写真など、美しい自然や牧野博士の人柄に触れることができる施設となっており、一休みできるカフェも併設されているので、休憩しながらゆっくり植物園を回ることができます。高知県や牧野博士に興味のある方はぜひ行ってみてください。



今回から新たに職場紹介の連載を開始いたしました。

当院での勤務歴は長いですが、管理課歴はまだ4か月目です。全体像を把握しきれていないところもありますが、紹介させていただきたいと思います。

管理課は2階事務所入り口向かって左側に位置しております。業務内容は主に労務管理、人事・給与、共済・福利厚生、出張、郵便、電話交換…などなどとなっております。また、皆さんの健康・メンタルヘルスのサポートとして保健師、院内の清掃や小修繕を実施している技能グループ、昨年9月より機能した病院メッセンジャーも在籍しており、事務職員というとデスクワークが想像されるかと思いますが、その枠にとらわれない様々なメンバーで構成されており、日々の様々な業務に従事しております。

冒頭でもお話をいただきましたが、管理課歴が短いため、私の業務の紹介と数か月在籍して感じたことを書きたいと思います。

私の業務の中で院内の職員の皆様と関わらせていただくことが多い業務は「旅費」でしょうか。コロナ渦も徐々に明けつつある中で比例して、自粛やオンラインで開催されていた学会なども現地開催が増え、業務出張される職

員さんも増加しております。

出張に際し、書類確認や旅費規程に則り、支給に間違いのないよう日々努めています。今後の課題として、出張のルールなどを分かりやすくまとめた資料を作成したいと考えております。今後も色々旅費支給に際してお伺いすることもあるかと思っておりますので、その際にご協力宜しくお願いいたします。

数か月在籍してみて感じたことは、管理課職員は本当に職員や患者さんのことを想って業務をしていると感じました。例えば給与係は、毎月支給される給与は私たちの生活の根源になるため、間違いのないように日々本当に奮闘しております。また、技能グループは暑い中外の草刈りなど清掃を行い、病院の環境美化に一翼を担っています。また職員の健康診断や予防接種等を通じて保健師は職員の健康管理を見守っています。また交換手（庶務係）は1日に300件を超える電話を取り次ぎ、病院の顔として懇切丁寧な対応を心がけています。

まだまだ書き足りないところもありますが、毎日職員の皆さんが安心して勤務できるよう管理課職員一丸となってサポートしてまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



技能グループ・メッセンジャーの皆さん

7病棟は2012年3月に地域周産期母子医療センターとして開設し、東広島・竹原地区の周産期を支えている病棟です。病床数は、産婦人科35床、NICU6床、GCU6床で運用しています。

昨年度の分娩件数は467件で、正常分娩だけでなく、ハイリスク妊娠・分娩の妊婦さんを近隣施設から24時間体制で受け入れています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため中止していた母親学級を6月から再開し妊娠中から安全にお産ができるように支援しています。

産後は、母乳育児の推進と育児技術の習得を目的に母児同室を行い、一人ひとりにあった支援を実施し、安心して退院できるようにサポートしています。また、東広島市からの要請を受け、2023年から産後ケア事業を開始し、母親の身体的な回復のための支援と母親の話を傾聴する等の心理的支援、新生児及び乳児の状況に応じた育児支援に取り組んでいます。

NICUでは在胎週数34週以降の新生児を受け入れており、ディベロップメンタルケアや家族中心の看護を行っています。また、医療的ケアの必要な児の退院支援を多職種と協働しながら積極的に行っています。

安心・安全なお産と安心して赤ちゃんを育てる支援ができることを目標に部署内の勉強会に加えて、手術室などの他部署とのシミュレーションを行い日々研鑽に努めています。



細菌検査室は、主に感染症診断に必要な「細菌学的検査」や「ウイルス感染迅速検査」を実施している部門です。場所は臨床検査科の奥に位置し、結核菌の検査や管理を行うことから入室は厳重に管理され、常勤職員3名で担当しています。

2022年度の年間検査件数は、一般細菌検査6700件、抗酸菌検査1500件、新型コロナウイルスを含む各種迅速抗原検査4600件、遺伝子検査8200件の検査を行っています。

細菌学的検査では、まず塗抹鏡検検査により採取された材料を染色し菌を観察します。

その後、寒天培地を使用し菌を発育させ菌名を推定します。同定検査と並行して菌に対してどのような抗生物質が有効なのか調べる薬剤感受性試験を行います。

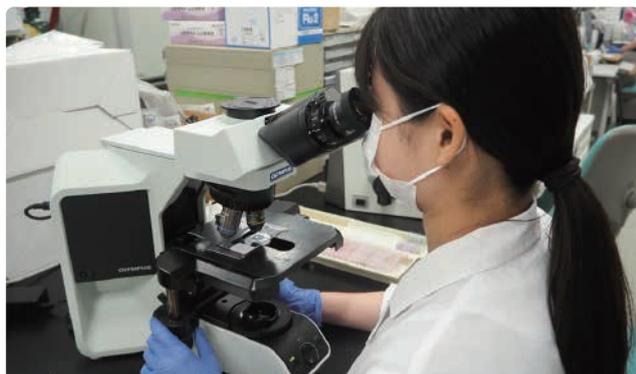
ウイルス感染迅速検査では、イムノクロマト法による各種抗原検査や遺伝子検査を実施しています。当センターではLAMP法を含め3台の遺伝子装置を使用し、

新型コロナウイルスや結核菌を迅速に報告することにより院内感染対策に貢献しています。

細菌検査室が関わる業務として感染対策チーム(Infection Control Team :ICT) および抗菌薬適正支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team :AST)があります。

専従・専任の医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務職員で構成され感染防止活動や抗菌薬適正使用を促進しています。細菌検査室としては血液培養などの菌の検出状況や薬剤耐性菌の発生状況を報告し、ラウンドを行い感染予防の啓発活動を実施しています。また感染対策委員会では毎月のデータをまとめ疫学統計報告を行い、病院全体で情報共有を行っています。

細菌検査室は引き続き、正確かつ迅速な報告に取り組んで参ります。今後とも宜しくお願い致します。



職場紹介

2病棟

副看護師長 嶋田 有加

2病棟は循環器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科の混合病棟であり、手術やカテーテル検査・治療を行う患者さんが入院されています。

カテーテル検査では看護師は検査介助も行き、検査前・中・後を通して、患者さんの不安の軽減ができるように寄り添い、安全な看護を行うように努めています。また、各診療科、多職種カンファレンスや、パンフレットを用いた患者指導を実施し、患者さんが入院中から退院後に向けて準備を行い退院後の生活が安心して行えるように看護をしています。

今年度より心臓病を抱えている患者さんやご家族に向けて「心臓いきいき教室」を再開しました。9月・11月・1月・2月・3月の14時から15時に研修センターで予定しています。(詳しくはホームページ、院内掲示板などご参照ください)

生活習慣を改善し、身体を整える支援をします。ぜひご参加ください。



職場紹介

HCU

副看護師長 栗井 美華

HCU(ハイケアユニット)は救急で来院された重症の患者さんや、全身麻酔で手術を受けられた患者さんなど集中治療が必要な患者さんの看護を行っており、ICUと同じ役割を担っています。

8床のベッドがあり、24時間いつでも救急患者さんを受け入れ医師や臨床工学技士、リハビリ部門など様々な部門のスタッフと共に患者さんの1日でも早い回復を目指して日々看護を行っています。

突然の病気や外傷を受傷しての入院は、患者さんのみならずご家族の不安もとても大きいと思います。短い面会時間の中で少しでもご家族の皆様が不安が和らぐように医師との面談を調整し、看護師からお伝えできる範囲で患者さんの様子をお伝えするようにしています。

また、HCUに入室される患者さんの痛みや苦痛が少

しでも楽になるように、患者さんに寄り添う気持ちを忘れず看護をしています。



この度、宮榮絵美様より「絵画2点」を寄贈いただきました

この度、宮榮絵美様より絵画2点を寄贈いただきました。絵画と宮榮様の絵画に込めた想いと共に掲載いたします。皆さんも実際に絵をご覧ください癒されてみてはいかがでしょうか。

この度、放射線科の富吉先生からお話しをいただき、東広島医療センターの壁に、私が描いた絵を飾らせていただくことになりました。

花に囲まれて寛ぐ馬の絵と、雲の上で眠る象の絵を描きました。どちらも主役の動物は目を閉じ、心地良さそうにしています。淡く優しい色の絵の具に、アクリルメディウムという添加剤を混ぜて、透明感を出したり画面に凹凸を出したりしました。

今回私が描いた作品は、アクリル絵の具を使用して制作しました。アクリル絵の具は、15世紀頃発明された油絵の具と違い、20世紀以降に発明された新しい画材です。歴史の浅い絵の具ですが、発色が良く、絵の具に溶いた水分の量を少なくすれば油絵のように表現でき、多くすれば水彩画のように表現できる、便利な画材です。

今回2枚の作品を描きましたが、放射線科と小児科の壁に飾らせていただくことになりました。私の作品を飾ることで病院の雰囲気が明るくなり、患者さんやご家族に不安や緊張を和らげてもらえたらと思います。



<製作者プロフィール>

宮榮 絵美
1984 広島県呉市生まれ
2008 名古屋芸術大学大学院 美術研究科 修了

【展示歴】

- ・2006 グループ展(愛知芸術文化センター：愛知)
- ・2011 個展(ギャラリーくさ笛：愛知)
- ・2012 グループ展(5/R Hall&gareilly：愛知)
- ・2013 個展(カモメのばあばあ：広島)
- ・2013 個展(くれ丸ごと物産館：広島)
- ・2014 個展(光の種：高知)
- ・2015 グループ展(ギャラリー彩：愛知)
- ・2015 個展(光の種：高知)
- ・2016 個展(光の種：高知)
- ・2016 個展(ハニーガーデン：高知)
- ・2017 個展(光の種：高知)
- ・2018 個展(ハニーガーデン：高知)
- ・2019 個展(HummingBirdCafe：広島)
- ・2022 個展(あすなろベイキングカンパニー：広島)

【受賞歴】

- ・2006 第38回日展 入選
- ・2007 第27回筑後市美術展 筑後市長賞
- ・2007 第39回日展 入選
- ・2014 第2回絵音展 大賞
- ・2017 第2回ArtExhibition瀬戸内大賞奨励賞
- ・2019 国立病院機構中国四国放射線技師会ロゴマーク作成

【作品所蔵】

国立高知病院

人事異動

採用



R5.10.1
麻酔科
(レジデント)
村尾 祐紀



R5.10.1
放射線科
(レジデント)
三村 紀裕



R5.10.1
小児科
(レジデント)
草本 慎一



R5.10.1
産婦人科
(レジデント)
宮原 新

退職

R5.9.30 麻酔科(レジデント)

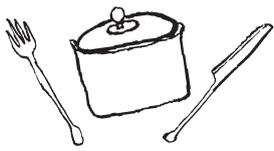
秋田 大輔

R5.9.30 放射線科(レジデント)

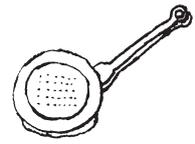
張 越

R5.9.30 心臓血管外科(心臓血管外科医師)

前田 和樹



／ 冷え性改善にいかがですか？ ／ かぼちゃマフィン



かぼちゃは豊富な食物繊維が含まれているため、腸内環境を整え、便秘を解消する効果が期待できます。
また、抗酸化ビタミンであるビタミンEも含まれており、免疫力を高めたり、血行の流れを良くして冷え性を改善するなどの働きがあります。



■ 材料(6人分)

- ・かぼちゃ(生地用)..... 120g
- ★かぼちゃ(角切り)..... 90g
- ・牛乳..... 48g
- ・砂糖..... 60g
- ・卵..... 1個(50g)
- ・キャノーラ油..... 30g
- ・ホットケーキミックス..... 150g

[1個当たりのカロリー: 226Kcal]

【 作り方 】

- ① 生地用のかぼちゃは電子レンジで加熱(600Wで4~5分)し、皮を除いて実の部分を裏ごしする。
- ② ★のかぼちゃは1.5cm角に切り、形が崩れない程度に下茹でする。
- ③ ボウルに①のかぼちゃ、牛乳、砂糖、卵、キャノーラ油を入れてよく混ぜる。
- ④ ③にホットケーキミックス、②の角切りかぼちゃを半分入れさっくりと混ぜる。
- ⑤ 生地をマフィン型に入れ、残りの角切りかぼちゃを飾り付け180度のオーブンで20分焼く。



診療科名		月	火	水	木	金	
1階	総合診療科	松本 正俊	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子	
	内分泌・糖尿病内科 フットケア外来	午前 ⑧向井 理沙 ⑨小出 純子	⑧眞田 彩加 ⑨向井 理沙	⑧第1・3・5 向井 ⑨第2・4 眞田	⑧小出 純子 ⑨眞田 彩加	⑧小出 純子 ⑨向井 理沙	
		午後	⑩担当医	⑩担当医			
	糖尿病療養外来	糖尿病療養外来は、毎週火曜日(祝日等を除く)の午前9時から12時まで【完全予約制】					
	腎臓内科	小田 華	入福 泰介	寺川 雄貴		入福 泰介	
	血液内科	今川 潤	粟屋 忠祐		今川 潤	粟屋 忠祐	
	脳神経内科	⑧石橋 はるか ⑨琴崎 哲平	⑧琴崎 哲平 ⑨末田 芳雅	⑧正廣 宣樹 ⑨琴崎 哲平	⑧末田 芳雅 ⑨石橋 はるか	⑧第1・3・5北村 ⑨第2・4石橋 ⑩末田 芳雅 ⑩正廣 宣樹	
	呼吸器内科	⑧野村 晃生 ⑨宮崎 こずえ ⑩西村 好史 ⑩川崎 広平	⑧重藤 えり子 ⑨三好 由夏	⑧西村 好史 ⑨宮崎 こずえ	⑧宮崎 こずえ ⑨重藤 えり子 ⑩川崎 広平 ⑩三宅 慎也	⑧川崎 広平 ⑨西村 好史 ⑩三好 由夏 ⑩中 康彦	
	循環器内科	⑧東 昭史 ⑨城 日加里 ⑩對馬 浩典 ⑩西樂 顕典	⑧山里 亮 ⑨小野 裕二郎	⑧小野 裕二郎 ⑨東 昭史	⑧西樂 顕典 ⑨城 日加里 ⑩山里 亮	⑧對馬 浩典 ⑨小野 裕二郎 ⑩城 日加里	
	小児科	上野 哲史 草本 慎一 手島 由梨乃	岡田 泰之 田村 尚子 手島 由梨乃	下田 浩子 上野 史子 坂園 子	下田 浩子 田本 慎一 草本 由梨乃	岡田 泰之 田村 尚子 手島 由梨乃	
	消化器外科	高橋 忠照 堀田 龍一 中川 正崇	豊田 和広 井上 雅史 河内 雅年 北崎 直	手術日		堀田 龍一 河内 雅年 第1・3 中川 第2・4 北崎	
	乳腺・内分泌外科	佐々田 達成	貞本 誠治	貞本 誠治 佐々田 達成	手術日		貞本 誠治
	ストーマ外来	ストーマ外来は、第2・4月曜日および第2金曜日(祝日等を除く)の午後【完全予約制】					
	整形外科	今田 英明 森岡 亮樹 荻本 悠丈	今田 英明 森岡 亮樹 小野 翔一郎 福本 由美香	藤岡 悠樹 荻本 丈人		今田 英明 森岡 亮樹 小野 翔一郎 荻本 悠丈	藤岡 悠樹 福本 由美香
	骨粗鬆症外来	骨粗鬆症外来は、第2、第4木曜日(祝日等を除く)の14時から15時まで【完全予約制】					
呼吸器外科	手術日		原田 洋明 赤山 幸一	柴田 諭一 山 幸一	手術日		
皮膚科 (火・金曜日手術のため8:30~10:30まで)	間所 直樹 鈴木 雄大	間所 直樹 鈴木 雄大	間所 直樹 鈴木 雄大	第1・3・5 鈴木 第2・4 間所	間所 直樹 鈴木 雄大		
眼科(休診)							
精神科	⑧野村 拓司 紹介予約のみ	⑨野村 拓司					
緩和ケア外来							
2階	消化器内科	濱田 博重 井河村 敦太 河川 良太	岡崎 彰仁 平野 大樹 安藤 雄和	濱田 博重 河村 良太	岡崎 彰仁 井安藤 雄和	平野 大樹 安藤 雄和	
	脳神経外科	勇木 清隆 貞友 洋樹 谷口 洋樹	手術日		谷口 洋樹 林 修平	品川 勝弘 林 修平	
	心臓血管外科	森田 悟	手術日		森田 悟 江村 尚悟	森田 悟	
	耳鼻咽喉科	午前	宮本 伸之 鍵本 啓介	手術日		鍵本 啓介 松元 聡一郎	宮原 伸之 松元 聡一郎
		午後	⑩担当医(予約のみ) 手術日	宮原 伸之(予約のみ) 松元 聡一郎(予約のみ)		⑩担当医 手術日	鍵本 啓介(予約のみ) 担当医
	歯科(入院患者のみ)	應原 一久	松田 真司	加治屋 幹人		濱本 結太	
	泌尿器科	望月 英樹 西田 健介	手術日		西田 健介 望月 英樹	望月 英樹 桐島 史明	手術日
産婦人科 (予約制)	午前	手術日	田中 教文 第1・3・5佐藤 第2・4 野村	手術日		田中 教文 浦山 彩子 第1・2・4 定金 第3・5 佐藤	
	午後	手術日	定金 貴子 野村 奈南	手術日		田中 教文 浦山 彩子 第2・4 佐藤 第1・3 宮原	

【受付時間】8時30分～11時30分 診察時間：8時30分～17時15分

○救急患者さんは随時診療いたします。
齒科(入院応需)は随時的に診察曜日が変更となることがあります。

【予約受付】再診患者さんにつきましては、受診時に次回の診察予約ができます。
また、定期的を受診されている場合には、電話での予約も可能です。
電話(082)423-1489(平日8:30～15:00)

【産婦人科】産婦人科外来は原則的に初診も含めて予約制です(火曜日・木曜日・金曜日)。

【診療日】月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります)

